

2024年3月『及ばざる事』と『ありがとう』が原動力となって

今あるものをより良くする事は、新しいものを造る事より難しいと実感する毎日です。57年前に開業したゴルフ場で歴史を重ねて参りましたが、水回りのシステムやキャディバックの取り扱いなど、昔の様式と隔たりがある事も多く四苦八苦しています。そんな中で変わる事が無いのは、諸先輩方を苦しめたコースの戦略性や、読み切れないグリーンの傾斜は、少しも変わることなく今もなおプレーヤーを悩ませています。



恵那峡ccに携わった頃を振り返ると、至らぬところばかりで、このままではお客様を呼べないと思いました。今思えば、及ばない所がはっきりしていた事で次々と改修に着手出来た様に思います。

徳川家康の言葉に『**及ばざるは過ぎたるより勝れり**』とありますが、正にその通りで足りているともっと上をととは思わないが、劣っていると思うから、もう一つ上を目指そうとする思いが勝っていたのではないのでしょうか。

そしてまだまだこれでいいわけはありません、これからも恵那峡ccの改修は及ばざる事の思いが原動力となって更に前に進めて参ります。

またスタッフにとって、お客様からの『ありがとう』がどれだけ日々の原動力になっているか分かりません。強いてはお客様に『ありがとう』と言って頂ける場所にする事が私たちの使命であると思っています。

それは『**人と人が感謝で繋がる場所にしたい**』が営業のコンセプトであるからです。

元日に能登半島で大きな災害があり心痛める日々ですが、ニュースの中で被災した方々とボランティアの方々が協力し合い酷難を乗り越えようとする姿は、日常我々が持って居なくてはいけない、人として繋がる温かさを逆に教えられています。

人が人をお迎えして、1日楽しく過ごす場所を提供すること。更に更に高見を目指して努力を重ねて行く事が、私たちに課せられた仕事と考えています。